

海外重要情報（第八輯）

昭和二十一年七月二十二日
理財局

目次



第一 米國に於ける物價統制の撤廢……………

一頁

一 物價統制の撤廢

二 物價統制撤廢の影響

第二 米國

國……………

一二

一 米國財政狀況

一 一九四五—四六年度赤字二百十九億第

二 一九四六—四七年年度算案

二 武器貸與問題

一 武器貸與決済額は貸與總額の三分の二

二 米伯間に貸與物資引渡協定成立

三 貸與艦船の賣却を企圖

三 米國貿易の現状と將來

一 最近の貿易狀況

一、ドイツ經濟統一實現を繞る問題

第六頁

.....四五

二、最近に於ける上海の經濟事情

(一) 貿易

(二) 物價

(三) 労働爭議の發生狀況

(四) 物價貳貳の原因

三、北洋に於ける本年屢次算

(一) 一九二六年算（四月—十二月）輸入輸出算

(二) 米草占領下の兩條の算との比較

第二 米國に於ける物價統制の撤廢

一 物價統制の撤廢

(一) 米國は一九四二年物價統制法を施行し物價管理局を設置して戰時に於ける物價の抑制につとめて來た。然るに同法は本年六月末日を以て満期となる爲同法の存續に關して賛否兩論が戰はれた。

(1) 政府當局は經濟の再轉換を圓滑にし、生産と購買力との均衡を回復する迄の過渡的措置として物價統制法の一ヶ年延長を主張し議會に延長法案を提案した。

(2) 然るに生産の遲滯は物價管理局による官僚統制の結果であり統制を撤廢すれば一時的乃至局部的物價騰貴はあるけれどもその危大なる生産力と業者の生産意欲とによつて生産は上昇し物價は自から落着くところに落着き却つて現存する國內的及び對外的不均衡を匡正するであらうとする産業資本の主張は大きく議會の空氣に影響した。

(3) 斯くてインフレイションに對する恐怖心から物價統制存續に

贊成する一般民衆の支持を受けた政府案は戦後急速に勢頭した自由經濟派の生産第一主義に壓倒されて、下院は四月十八日上院は六月十三日夫々政府案を全く骨抜きにした獨白の修正案を可決した。

(4) 従つて兩院の修正案に對して兩院合同協議會が開かれ約一箇箇の審議の後遂に六月二十五日兩院の妥協案が成立した。妥協案は二十五日下院を、二十八日上院を通過して二十九日白聖館に回付された。

(5) 右法案に對する大統領の態度は往目的となつたが、二十九日大統領は右法案を以つて不満足なものであるとし遂に拒否權を發動した。

(2) 下院は同日大統領の拒否權を乗切るべく票決を行つたが、拒否反對百七十三票、贊成百四十二票で全投票數の三分の二を獲得することができず乗切は不成功に終つた。上院に於ても七月二十日迄の延長緊急案の勸議は成立せず休會に入つた。従つて價格統制法は六月三十日午后十二時を以

つて期限満了となり自然消滅するところとなつた。

(2)

下院は物價統制法失效に伴ふ暫定措置として物價管理局を二十日間發存せしめる案を七月二日可決し上院に廻附したが、上院は右案に反對してをり、パークレーは新物價統制法案を上提した。新物價統制法案は七月四日上院銀行委員會を通過したが、八日から開かれた本會議に於て重大修正を受け、肉類、家畜、酪製品、家禽、卵、ミルク、小麥粉、石油、タバコ、棉實、大豆等は統制より除外されることになつた。

斯くて再び兩院協議會にかけられることになるがこのままの案では又大統領の拒否權發動の可能性が豫想される。

(3)

政府は無統制狀態を少くも一二週間存続させ統制の必要を一般に体得せしめる方がよいとの態度をさつてゐるが、統制撤廢の結果物價は勝利を収めた製造業者達の自重にも拘らず小巾ながら上昇しつつある。

(4)

物價統制の撤廢は米國內の經濟問題のみならず國際經濟の安定を脅かすものであり、世界經濟に占める米國經濟の主導性よりみて對外關係に甚大な影響を及ぼすかも本問題は世界の注目するところである。

二 物價統制法撤廢の影響

(一) 撤廢の國內的影響

(1) 労働統計局發表による物價指數は

六月三十日 一九九・四
 七月一日 二〇六・五
 二日 二一六・五
 三日 二一五・四
 六日 二二一・五
 八日 二二一・五
 九日 二二・五

十日 二二七・九

と小幅ながら上昇を續けており十日には統制法撤廢以來一四・三%方の昂騰を見た。特に食糧品の値上りは激しくダン・エンド・ブラッドストリート誌によれば二日には一九二〇年七月以來の最高水準に達したと言はれる。

(2) 大幅騰貴を生じない理由(外信七・八)

(イ) 豫想した騰貴率が過大であつたこと。

(ロ) 無統制を見越して業者の退蔵してゐた物資が市場に殺到した

たこと。

(ロ) 畢竟、米國に於ける物價統制の撤廢は二月の新貨銀物價方式に類く産業資本の攻勢の現れであり、對外的にブレトン・ウツツ協定、對外借款政策等に見らるる戦後には於ける米國資本主義的自由經濟思想の國內的展開を見るこゝが出来よう。

(イ) 議會が新物價統制法案成立迄の暫定措置として舊統制法の延長を行ふかも知れないといふ不安が一部に抱かれたこと。

(ロ) 物價騰貴の國民生活に對する影響

(イ) 統制時代に於ても一部物資については公定價格は名目的なものであり一部食糧品は闇相場が普通となつてゐた。

(ロ) 従つて物價騰貴は今の所國民生活には大した影響を及ぼしてゐない。

(a) 例へば公定五十七仙であつたバターは現在一封度一弗見當であり、四十二仙の騰貴に當るが内十五仙に過ぎない。しかも從來バターは闇でしか手に入らずその相場も最低一弗であつた。

(b) 肉類、小麥粉は六月末の闇相場よりも安く、工業製品の小賣價格も業者の自肅等により大体變化をみせてゐない。
(毎日七・九)

(c) ヴァージニア地方では消費者側が不買ストライキを行つた爲物價は軟勢を示し統制廢止前の水準に低下し、生鮮食料品の如きは冷蔵庫に累積されてゐる狀況であると言はれる。
(外信七・一〇)

(4) 物價統制撤廢に對する觀測

(イ) 農務省が飢饉救済用小麥、肉類の買上げに對しこれ迄の最高價格以上支拂はないと言明したことは食糧品市場に於けるインフレ的價格上昇を一時的には喰ひ止めてゐるが、無統制狀態が續けば上昇を見ることは必至である。現に物價管理委員會は今後生計費は六ヶ月乃至一ヶ年内に一割乃至二割五分の騰貴すると觀測してゐる。(日經七・五)

(ロ) 政府は物價暴騰の結果物價と賃銀との惡循環的現象を生じ、老大な過剩購買力の壓力により米國經濟インフレに突入し國民經濟は混亂するであらうと警告してゐる。現にクライスラー自動車工場は議會が物價安定の措置を請ひ物價を六月二十日の水準に止めない限り賃銀引上要求交渉を再開する旨の決議を行つた。(外信七・一一)

(ハ) 他方次の如き樂觀論も見られる。

(ニ) バルチモア・サン紙(時經六・一八)

(1) 物價統制の緩和は生産に對して強力な刺激となるから供給は迅速に要求に匹敵するやうになるだらう。

(四) 斯くて一時的の物價騰貴は止むを得ないとしても全

面的な物價騰貴は防止されるであらう。

(b) ロイター通信經濟部長ギャンベル（時經七・四）

一般に豫想してゐる悲劇的結果の可能性は十分あるが

その反面希望もあると次の如く述べてゐる。

(I) 統帥撤廢後豫想されるブームと反動は米國を破滅す

のみでなく、ブレトンウツツ機軸をも破滅せしめる

ものであり、米國人はそれを誰よりも良く知つてゐ

る。

(II) 無統帥の中に統帥秩序を見出し得る米國人の常識と

米國の生産力は充分信頼すべきものがある。

(III) 物價が鰐舁りになる場合には、然るも統帥は復活する

であらうし、落着けば米國資本主義の實力が發揮さ

れよう。

(二) 撤廢の對外的影響

米國の物價騰貴が海外他國の經濟事情を惡化せしめるところは必

然りありて對外借款の減額を意味し、世界飢饉突破計畫を
 擧げせしめ、米國と密接なる經濟關係にあるカナダ等への
 影響は極めて甚大なものがあらう。

(1) 飢饉救済用一部物資の買付停止 (外信七・三時經七・四)

(イ) 政府は七月一日以來の物價騰貴に鑑み對外供給用の中
 テーズ、乾燥乃至粉ミルクを除く全食糧品の買付を停
 止した。

(ロ) 小麦輸出に付いては六月三十日迄の買付ストックが充
 分あるからさし當り六百萬トンの積出計畫には懸念は
 ないが穀物が飼料用に流れる結果今後は甚だしく穀物
 積出を阻害するであらう。(外信七一)

(ハ) アンラの資金は限定されてゐるから對外供給量の削減
 は不可避であると思はれる。

(2) 輸出統制強化を準備 (時經七・四)

輸出價格統制の停止の結果不足物資の積出が増加するの
 を惧れ民需生産局は近く、或る種の物資の積出を戦前實
 績の何割かに制限するものと推測される
 カナダの對抗措置 (外信七・三五日七・九)

輸入の四分の三以上を米に仰いでゐるカナダは米の物價暴落に對處して七月六日よりカナダ幣を米幣と等價にした。

(1) 右によりカナダ爲替管理當局代行機關は今後カナダ第一弗で米第一弗を賣ひ（從來は一・一〇カナダ第一弗、一・一〇カナダ第一弗二分の一使で米第一弗を賣ることにならう。（從來は一・一〇五カナダ第一弗、一米第一弗）

(ロ) 更に財務省は食糧品、衣料、品代及び貨銀等の嚴重な物價統制を發表し、補助金制度を維持することを言明した。

(4) 其の他諸國への影響

(イ) 英國の三十七億五千萬弗の對米借款は事實上減額となり、マシエスタ一の綿業は米綿がこれ以上高くなれば外國棉に頼らねばならなくなる。ギヤンベルは輸出品も高くなるから充分相殺を得る言つてゐる。

(ロ) 中南米では無統制は結局米資本主義の獨占を助長し中南米の工業化を骨抜きにするを觀測してゐる。（時經七・四）

四 無統制狀態出現に對する國民の動き

無統制狀態出現を希望した製造業者は物價の奔騰によつて大統領や勞働組合の指導者達に物價統制復活の必要を主張する。

いい口實を與へることを惧れ、問屋、賣捌業者に呼びかけ價格を小賣價格の線で抑へるやう要請してゐるが、民間には次の如き自衛手段が考へられてゐる。

(1) ニューヨーク。ナシヨナル。シテイ銀行案（日經七。五）

ニユーヨーク。ナシヨナル。シテイ銀行は國民自身にも經濟秩序安定の責任がある。次の如き意見を發表した。

(4) 諸工業團體をして必需物資の生産に全能力を發揮させること。

(5) 農業、商業、勞働各界がその獻智を働かせ他を犠牲としないで獲られる恒久的の利益以上のものをインフレの費用によつて賜げようとしないうこと。

(6) 消費者は物が潤澤にある時と同じ心持で決して買漁りに狂奔しないこと。

(7) 通貨膨脹、放漫財政、信用貸等インフレ昂進の根本原因を抑制すること。

(2) 不買同盟

(イ) オハイオ州 知事は市民に對しその幸福と健康を害しない限り凡ゆる物資に對して不買同盟を決行せよと告げた。

(日經七・四)

(ロ) 在郷軍人會ペンシルヴァニア州支部長は物價統制が復活する迄支部會員は不買同盟を開始するであらうと發表した。(日經七・五)

(ハ) 物價騰貴に對する消費者側の示威運動はニューヨーク、セントルイス、フィラデルフィア、クインシイの各地で發生してゐる。(日經七・一三)

第三米 國

一、米 國財政狀況

(一) 一九四五—四六年度赤字二百十九億弗（日經七・八）

(1) スナイダー財務長官の發表によれば一九四五—四六年度の歳入不足は二百十九億八千四百萬弗であり、前年度の五百三十九億四千八百萬弗に比して半分以上である。

(2) 國庫收入は豫算の四百二十九億三千二百萬弗を上廻り、支出は對英借款を始め對外借款供與計畫が遅延した爲減少したと言はれる。（時經七・一）

(二) 一九四六—四七年度豫算案

(1) 下院、七十億弗の陸軍豫算案を可決（外信六・二一、二四）
下院は六月二十三日七十億九千一百萬弗に上る陸軍豫算案を可決した。石は平時に於ける最高の陸軍豫算である。（一九四〇—四一年度三十六億七千八百萬弗）
主要項目は次の通りである。
(1) 原子力研究及び擴充費

三億七千五百萬弗

(四) 軍政及び救済費

三億五千萬弗

(五) 空軍費

十一億九千九百五十萬弗

(六) 海外基地建設費

三億一千九百萬弗

(七) 右豫算による次年度兵力は

六十八萬三千人である。(海外重要情報第六號參照)

(2) 上院は六月二十二日國務省の對外短波放送復活費四億五千二百八十萬弗を可決し下院に廻附した。(外信六・二三)

ニ 武器貸與問題

(一) 武器貸與決濟額は貸與總額の三分の二(外信六・二〇、時電七・六)

武器貸與の決濟に關しては既に八ヶ國との決濟を了し目下露阿等との間に交渉が行はれてゐる。(重要海外情報第七號參照)

(1) 米國は現在迄に三百三十三億七百七十六萬弗以上を決濟した。

右は一九四五年末迄の貸與總額四百九十億九千六百萬弗の三分の二以上に達してゐる。

(2) 決済額のうち約九億弗は支拂ひ乃至支拂約束を受けたり、七十二億八十八萬弗は逆貸與で差引かれた。

(3) 米國は決済に當り當該國の土地及び建築物を支拂の一部に充當する事に同意し、これらを大使館その他の政府目的に使用する筈である。

(4) 最近の武器貸與清算協定

(i) 對ニュージールランド清算協定は七月十一日編印された。石によりニュージールランドは米國に五百五十萬弗を支拂ふことになつた。(外信七。一二)

(ii) 對ベルギー清算協定成立

(a) ベルギーは逆貸與が貸與額を超過した唯一の國で逆貸與額は一億五千五百萬弗餘に達してゐる。

(b) 米國はベルギーの經濟再建を援助するといふ方法でこの負債の支拂を行ふことになつた。

(c) 國務省は六月十七日米中兩國間に米國の對中國武器貸與援助に關し中國の長期支拂協定が締結された旨發表した。
(朝日六。一九)

(一) 國務省は米ソ借款交渉に武器貸與の決着を包含せしめんと
してゐる。(對ソ貸與額百十一億四千四百四十七萬弗、
進貸與二百二十一萬三千弗)

(二) 米伯國に貸與物資引渡協定成立(時經七・三)

(1) 一九四五年九月二日以前に納入されたもの及び現在補給を
受けつつある貸與物資約二百萬弗の處分に關し六月二十八
日協定が成立した。

(2) プラジルに引渡される主なる物資は次の如くである。

工業施設 百一萬四千弗 防空關係施設 十三萬七千弗
砲關係 八十九萬八千弗

尙ほ運輸艇はプラジル持て米國の許可なくして他の第三國
に賣ふことは禁ぜられてゐる。

(三) 貸與艦船の賣却を企圖(時經七・一一)

(1) 米國は貸與した艦船を正式に當該國に賣却したい意向があり
對ソ貸與艦に付いてはソ聯が米國より借款を供給された場合
これを以つて買入れる意希望してゐる。

(2) 貸與艦船四千二百隻以上の内譯は左の通りである。

英 國 三三九〇隻
ソ 聯 五七五

その他の諸國 二三五隻以上

三、米國貿易の現狀と將來

(一) 最近の貿易狀況（時經七・一）

(1) 最近の輸出は極めて旺盛で年額にすれば九十一億五千萬弗で戦前の三倍以上の高水準を維持してゐる。

(2) 政府、アンラ及び武器貸與積出を除く商業輸出のみでも戦前に戦前の二倍以上になつてゐる。

(5) 諸國の需要と米國の可能供給額を差控とする米國商品の輸出見込額は左の如くである。（單位百萬弗）

食用肉 類	八九四	野菜食糧品	九九四	非食用動物製品	一四八
食用野菜類	五六〇	非鐵金屬類	二〇二九	金屬及同製品	二〇四二
機械及車輛	三四一九	化學藥品及 醫藥品	七三六	其他雜品	四一七

(4) 本年一月一四月迄の貿易額（單位百萬弗）

	輸入總額		輸出總額		内國業一出
	一月	二月	三月	四月	
輸入總額	三九二	三一八	三八四	四〇六	
輸出總額	八〇〇	六七一	八一六	七五六	
内國業一出	六六八	六五一	七八八	五八二	

(5) 貿易の將來

- (1) 内外の情勢が良好で米穀の長期投資と貸附とが現在の計畫通り進められるなら米穀の輸出は來るべき五ヶ年間に年間百十億乃至百二十億弗の水準に達するであらう。（時經七・一）
- (2) 米穀から外國への資本流出は一、二年の後に頂點に達し、爾後減退傾向に轉じ、その後外國が債務の返済を開始するにつれて輸入は着々増加するであらう。（時經六・二五）
- (3) 米穀の將來直面する外國貿易の問題は如何にして輸出貿易を國內經濟に有害な影響を與へることなく實施し輸入を増加せ

四

(一) 戦後

(2) 世界の國際借款額 (日米七・六一F・R・B六月期)

(1)

うち正式に契約が締結されたものは六十億弗で、残り四十億弗は未だ署名批准を了しないものである。(現在討論中の借款は含まれてゐない)

(四)

右六十億弗中米國の貸附額は二十八億弗(うち二十一億弗は輸出入銀行によるもの)であるがこの内には對英六億五千萬弗借款及び對佛七億二千萬弗借款は含まれてゐない。

(4)

現在の國際政情が漸く限り米國の對外貿易高は數ヶ年內には減少を示すであらうと観測する向あり。その一原因は日獨の工業壓縮である。けれど米國の貿易は農業國よりも工業國との關係に於いて遙かに上廻つてゐる。(外信六・二二)

しめる事にある。海外貸附と投資が増加すればする裁判拂及び償却費を相殺する爲輸入の増加を計ることが必要である。(時經六・二五)

(2) 戦後借款の特徵（時經六・六）

(イ) 戦後の借款は原則として副約された借款で債権國から債務

國への輸出にのみ利用し得るものである。

(ロ) 然し米國が印度に與へんとしてあるクレデツトは全く多邊
的な性質のものであり、米國のみならず他の諸國よりの輸
入をも認めてゐる。

(ハ) 目下審議中の對英借款は國際的融資及び世界貿易を多、邊
に復興せしめんとするものであり、總ての國際通貨金融協
定を成功せしめる前提となるものである。

(3) 米國に次ぐ債權國はカナダであり、借款額は十六億四千三百
萬米ドルである。その内訳は、

イギリス 十一億二千五百萬米ドル

西歐諸國（オランダ、フ

ランス、ベルギー等） 四億五千萬米ドル

中國 五千四百萬米ドル

印度 一千三百萬米ドル

ソ連 三百萬米ドル

(4) 英國は第三位であるが之は本年二月末日に期となつた英佛金
銀協定が未決済の爲である。即ち

フランス 四億四千萬佛

ギリシヤ 一千萬磅

チエツコ 六百萬磅

(5) スエーデンは復興及び商業用の目的でノールウエー、フィン
ランド、デンマーク、ベルギー、ポーランド、オランダ及そ
の他諸小國へ二億四千二百萬佛を貸與した。

(6) スイスは總額一億五千萬佛に相當する金又はクレヂットを西
歐諸國に貸與し、スペイン、ポルトガル、アルゼンチン、そ
の他諸米亞國は同様に西歐諸國に相當額の資金を貸與した。

(7) 世界各國の外貨借入状況（附録六・六）

(1) フランスは現在最大の借入國で二十七億佛の借入を許可さ
れてゐる。即ち米亞から十九億二千萬佛、英國から四億四
千萬佛、カナダから二億一千八百萬佛、その他諸國から若
干である。

(一)

最近米國の對外借款供與狀況

(1) 商務省の發表によれば七月十五日成立の對英三十七億五千萬弗借款を含めて本年末迄の米國の對外借款は百億弗前後に達する。

(2) 然し債務國が本年中に消費出來る額は物價を早急に引取らざる限り出來ない爲その三分の一にも達しないであらう。(日經七・五)

(3) 對外借款供與協定

(1) 對爱尔兰五千萬弗借款供與を決定(日經六・二九、時經六・二九)

(2) 對九千萬弗借款は爱尔兰政府がニユースの檢閲制度の停止と他國との經濟協定の説明を廢止した爲五月以來留保されてゐたが、米政府は六月二十七日對爱尔兰

(1) 英國は十八億五千萬弗で、カナダより十一億二千五百萬弗、米國より六億五千萬弗、スイスより六千五百萬弗である。

(2) オランダは五億五千萬弗で米國より四億弗、カナダより一億一千二百萬弗等である。

(3) ソ聯は米國から四億弗、カナダから三百萬弗を受けてゐる。

五千萬弗借款を英與する旨發表した。右はポーランドの國民投票を三日後に控へて發表されたものでありこの決定は注目される。

(b) ポーランドは交換條件としてソ聯との信用協定を初め六ヶ國との經濟協定の全文を提供する旨約束した。

(c) 右借款は米國海軍餘剩物資の買入れ及びポーランドの運輸、産業の復興の爲に使用される。

(d) 右發表に伴ひ目下ポーランド政府と輸出入銀行との間に進められてゐる追加四千萬弗のクレジット交渉も妥結に達するであらう。

(e) 對フィンランド五百萬弗借款（時價六・一九）

(a) 米國は今同米國通剩財産購入資金として更に五百萬弗の信用をフィンランドに與へる協定を締結した。

(b) 既に本年初頭一千萬弗の信用協定が締結されてゐるからこれで合計一千五百萬弗の借款が認められたことになつた

(c) 米英三十七億五千萬弗借款成立（日價七・一五）

(a) 下院本會議は七月十三日對英借款案を二百十九票對百五十五票の多數外の多數を以つて可決し大統領は七月十五日これに署名した。

(b) 本借款の組ひは英國經濟の再建援助、米商品の捌け口確保、金本位制の擁護、多角的通商貿易の制限等であり、スターリング・プロツクの打破を通じて世界的自由通商への前進を示すものである。

五 在米外國資産の凍結解除（時經七八、七一〇）

戰爭中五十九億八千五百萬弗に達した外國資産の凍結は戦後の自由な國際金融活動を妨げる大なる障礙と目されてゐたが米政府は今回その一部を解除したのでこの障礙も漸次除去されるものと見られる。

- (1) 歐洲の八ヶ國（フランス、ベルギー、ノルウエー、フィンランド・オランダ、デイツコ、ルクセンブルグ、デンマーク）は米國と二十五億九千五百八十萬弗の凍結資産解除に關する協定を締結した。石は凍結資産四十八億一千二百萬弗の半分以上に達するものである。
- (2) この外少額ではあるが他の歐洲諸國の在外資産及び一部アジア諸國の資産に對する凍結も解除された。
- (3) 戰爭中占領されたギリシャ、ユーゴスラヴィヤ、ポーランド、オーストリアの資産凍結解除に付ても既に通商交渉が進められてゐる。

- (4) 現在なほ凍結されてゐる歐洲資産の内、最も大きなものはスイス、スウェーデン、スペイン及びポルトガルに属するもので、凍結額は十六億九千六百十萬弗に達してゐる。その内訳は次の通りである。
- | | |
|--------|------------|
| スイス | 十二億一千六十萬弗 |
| スウェーデン | 三億六千六百二十萬弗 |
| スペイン | 六千萬弗 |
| ポルトガル | 六千萬弗 |
- (5) スイスは最近十五億弗の解除を受けた。この内にはドイツ分(約半分六千萬弗)は金で聯合國に引渡す。や米國證券の外八億弗の政府及び國立銀行の分がある。
- (6) アルゼンチンは政府資金七億弗の解除を受けたが更に民間銀行資金六百萬弗の解除方を交渉中である。

第三 英帝國

一 英國一九四六年度豫算及び一九四五年度實績（海外重要情報第
三輯参照）（時經六・二六・二七）

（一）總額

（單位千磅）

區分	一九四六年度豫算	一九四五年度實績
歲出	三八八六九一七	五四七四七七九
歲入	三一九三三〇〇	三二八四四五〇
差引歳入不足額	六九三六一七	二一九〇三二九

（二）内 譯

（1）歳出

（單位千磅）

區分	一九四六年度豫算	一九四五年度實績
國債費	四九〇〇〇〇	四五五、四四六
北アイルランド國庫に對する支出	二〇〇〇〇〇	一二、二六六
國有地基金に對する支出	五〇〇〇〇〇	一

その他整理基金費	八〇〇〇	八〇一五
小計	五六八〇〇〇	四七五七二七
議定費		
内國防費	一六六六五七五	五三九七五〇
民治費	一六一六七四九	二九二九八
收入（關係省費）	三五五九三	
信任議決項目		
小計	1	四四一〇〇〇〇
通常歳出總額	三三一八九一七	四九九九〇五二
減債基金	1	五四七四七七九
獨立會計收入	一二〇、九〇〇	一一五五〇〇
超過利得税戰後返済額	1	一、二五三

(2) 歳入（括弧内は新税實施の場合の見積額）（單位千円）

區分		一九四六年度豫算	一九四五年年度實績
所得稅	所	二一四五〇〇〇〇 (二一四一〇〇〇〇)	一三六、三四六
附加稅	附	八〇〇〇〇〇	六九〇六九
遺產相續稅	遺	一二五〇〇〇〇〇 (一四〇〇〇〇〇〇)	一二〇三〇一
切手收入	切	二九〇〇〇〇〇	二五〇九九
國防金	國	三二五〇〇〇〇	三五四八五
超過利得稅	超	一〇〇〇〇〇	四三〇八七七
その他内國稅	そ	一〇〇〇〇〇	七一
小計	小	二七〇五〇〇〇〇 (二六八六〇〇〇〇)	二〇四、三八九
國稅	國	五九五〇〇〇〇	五六九八四二
消費稅	消	六〇五〇〇〇〇	五四〇八〇〇
小計	小	五九三〇〇〇〇 (一二〇〇〇〇〇〇)	一一一〇六四二
合計	小	二一八七〇〇〇〇 (二一八七〇〇〇〇)	三三六、〇三六

自勤車税	税収總額	餘剩戰爭資材 等賣却收入	特殊取引サービ スよりの餘剩收入	無電許可收入	王領地收入	諸貸附收入	殘收	通常歳入總額
(三九四五〇〇〇〇〇〇〇)	(三九一八〇〇〇〇〇〇〇)	一五〇〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇〇	五三〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	二二〇〇〇〇	三一六一三〇〇〇
四三二	三一九六七〇三		五一八〇	九六〇	一一〇四七	七〇五六〇	三二八四四五〇	

三一 一九四六年度豫算の特質

(2) 歳出

(イ) 歳出總額は國民所得の實に四五%に當り支出し放しの経費と戰爭 退分經費約二十七億磅は英本國の個人所得總額の殆んど三分の一に達してゐるを觀られる。

(ロ) 藏相の説明に依れば社會政策關係諸經費は一億四千五百萬磅を増加したに過ぎぬが退藏年金、國民保健事業費及び家族除の引上げが全面的に實施されれば年額七億磅に上るべく尙政府が現在實施してゐる社會政策費總額は一九六五年乃至一九七〇年までには年額十億磅に達する見込である。

(2) 歳入

(イ) 所得稅收入十一億四千五百萬磅は前年度実績に比し二億一千六百萬磅の減收見込であるがこれは本年度國民所得が前年度に比し相當減少を示すものの見透しに基くものである。

(ロ) 關稅及び消費稅は十二億磅が計上され前年度実績に比し八千九百萬磅の増收が見込まれてゐるがこれは輸入計畫の内容と

規模の改竄を繰込んだものと観られる。

(四) 税制改正の概要

本年度に於ける減税は、大要左の如くであるが、これが實施は、今秋まで延期される豫定である。

(1) 所得税

(イ) 一千二百磅以下の勤勞所得に對する控除を十分の一より八分の一に引上げる。

(ロ) 既婚婦人の勤勞所得控除を八十磅より百十磅に引上げる。

(2) 超過利得税

本年末を以て廢止する。

(3) 遺産相續税

一萬二千五百磅以上の所有地に對する税率を引上ぐると共に七千五百磅以下の所有地に對しては免稅とする。

(4) その他

(イ) 二千磅以下の所有地に對する租税を全面的に免除する。

(ロ) 購買税特に三世帶道具に對し減税する。

二、英波金融協定調印（短中波六・二五世界短波六・二九、時經六・

二七、時電六・二八）

(一) ポーランドの對英戰債決済に關する英波金融協定が調印され
た。

(1) ポーランドは在英金準備七百萬磅の内三百万磅を戰債決済の
一部として英國に引渡す。

(2) ポーランド政府がロンドン亡命中に行政費用として借入れ
た三千二百萬磅の債務は一千萬磅に引下げ二千二百萬磅に切捨てる。

(3) 右一千萬磅の債務返済は五ヶ年後開始されその後十五ヶ年
間に完了する。但し軍事債務四千七百萬磅は未済のまま置
置く。

(一) 英國政府は駐英ポーランド大使に對しポーランドが自由選舉
を實施しない限り本協定を批准せざる旨通告したが七月四日
夜のワルシャワ放送は英國政府はポーランドが總選舉の日取
りをまだ發表してゐないこの理由を以て本協定の批准を中止
する旨公式通告したと報じてゐる。（時經七・三九）

三、パン配給制實施（世界短波六・二九時經六・二九七・一五六）

(一) 食糧相ストラチーは下院に於て小麥不足と食糧飢饉地域への救済食糧供出を必要とする現狀に對處するため七月廿一日よりパン及び小麥粉の割當配給を實施する旨發表したが下院は該案を可決した。ここに英國に於て戰時中も實施を見なかつた主食の配給制が實施さるることとなつた。

(二) 右案によれば配給割當量は左の如くである。

(1) 割當基準量及び加配量

割當基準量		加配量	
成人	オンス 九	妊婦	オンス 二
十一才—十八才	一二	重労働者	六
五才—十一才	八		
一才—五才	四		
一才以下	二		

(2) 割當量の受配についてはパン又は小麥粉或ひはその混合を自由選擇し得る。

(註) 英國食糧省の非公式發表によれば西歐諸國のパン配給量は左の如くである。(一週當オンス)

國別	普通人	重労働者
フランス	七三	一三五
ベルギー	八六	一三〇
オランダ	七七	一一九
デンマーク	八三	一一三
ノールウェー	六六	一一六
スイス	六三	一一六

(3) パン配給制實施と同時に食糧相は左の如く發表してゐる。
H) 現在毎週十四ペンスの肉の割當量を十六ペンスに増加する。

(4) 燕麥の割當量も現行の毎週十四ペンスより十六ペンスに増加する。

(4) 食糧相は今回のパン割當量は國民の正常消費に對し五%乃至十%の消費節約を要求するに過ぎず一人當りカロリー五万五千取量は肉及び燕麥の割當引上げにより現在の二万八千五百カロリーより二万八千五百カロリーに低下するに過ぎないことを述べてゐる。

(三) 配給制實施に關する食糧相の説明と反響

(1) 食糧相ストラチーは下院に於て配給實施に至つた事情を左

の如く説明した。

(イ) 英國は一九四五年十一月以來印度を初め西歐諸國その他に對し穀類四十九万七千屯、小麥粉十萬九千屯、馬鈴薯一萬

三千四百屯を供給した。

(ロ) 現在英國の小麥及び小麥粉の手持は八十万屯で昨年同様に比し二十万屯を減少してゐること。

(ハ) 米國の物價統制廢止に伴ひ労働爭議勃發せば今後三ヶ月間に於て輸入遲滞の事態が考へられること。

(2) 反響

(イ) 六月廿七日食糧相が下院に於てパン配給制を發表するや小麥粉は全國的に買漁られ廿八日午前十一時迄にロンドン及び近郊に於て百万ポンドの小麥粉を賣り盡くし買漁りは朝食用の各種穀類ボリヂ燕麥等に及んでゐると傳へられる。

(ロ) 保守黨の首チャーチルは本措置は平時に於て余が聞いた最も悲しむべき事の一つであると言つたが一般國民からもパン製造業者の割當制實施二ヶ月延期要求、マスター・ペーカース組合及び英國主婦聯盟の絶對反對聲等非難が集中してゐる。

米國の物價統制撤廢とカナダの対策

(一) カナダの經濟的實勢（時經七。九）

今次大戰中カナダの經濟的地位は一變した。

(1) 農業本位國より工業貿易國へと發展し本年四月には三億七千五百萬磅の對英借款を供與するなど債務國より債權國へと躍進した。

(2) 國家財政は安定して居り戰時以來の諸統制は有效適切に行はれその生計費指數は一九三九年八月以來米英の約三二%騰貴に比し僅かに一九%の騰貴に終つた。

(3) 米弗及び金準備額は一九四二年一月末の一億七千四百萬磅より一九四五年末には十五億八百萬磅に著増した。（時經六。二）外國爲替管理局發表

(4) かかる經濟的躍進は對外的には爲替の強調に表現されてゐる。

(二) 米國の物價統制撤廢に對する對策（時經七。九）

(1) カナダの貿易は對米貿易が壓倒的であつて一九四四年には對米輸出は約十三億六千萬弗、對米輸入は約十四億弗で力

(2)

ナダの輸入總額の四分の三を占めてゐる。

従つて米國の物價統制に伴ふ物價の奔騰はナダ經濟にさう遠大な影響を與へるものと観られるがナダ政府は之に對し國內物價の安定保護のため輸出上の不利を忍んで左の措置を採ることとした。

(1) 對米爲替相場場の改訂

七月五日夜半より對米爲替相場場をバーとする即ち

(a) 對米買相場 一米弗 一加弗

賣相場 一米弗 一加弗

(註) 從來の對米相場場は一九三九年九月十六日以降買

相場一米弗 一加弗賣相場一米弗 一加弗

一加弗

(b) 對英買相場 一英鎊 四。〇二加弗

賣相場 一英鎊 四。〇四加弗

(c) 物價管理機構の強化

(a) 食糧品、衣料、地代及び賃銀其の他を含む多數品名を

指定し物價管理を存続せしめる。

(三)

カナダ引上げの影響

(1) 輸入品の管理を更に強化すると共に補助金制度を維持する。

(2) 各國に對米爲替引上げ機運（速報セ・一二、日本經濟セ・一三）

紐育ヘラルド・トリビュン經濟記者はスエーデン・スイス、スペイン、ポルトガル、アルゼンチン及び濠洲もカナダに倣ひ對米爲替を引上げるのではないかと觀測してゐる。また思惑筋ではその他諸國も追隨するであらうと觀て居り、中には磅貨の對米爲替引上説さへ流布する向もある。

(3) 産業界に及ぼした影響（時經セ・一〇）

産業界は從來對米輸出に於て一〇%のプレミアムを得て居たのであらう。今回の措置は何等かの對策が講じられなければ大部分の産業に生産上重大な影響を與へるであらうと議會は豫想してゐる。

(4) 金礦業は金の賣價格を一オンスにつき三八・五加弗から三五加弗に引下げられることになる。

(5) 米穀市場に於て支配的地位を占めてゐる新聞用紙の價格は、少くとも一噸につき七四弗の引上げが認められるであらう。

草製靴	四二%	ガロシ(オリーブ・シューズ)	五七%
毛織物	四五%	絹織物	五〇%
木綿織物	三八%	既製衣類	四三%
帽子類	三〇%	メリヤス類	三〇%
靴下類	四五%	化粧石鹸類	四六%
アルミニウム製食器	五四%	紙類	三五%
壁紙	五〇%		

(註) (一)食糧及び生活必需品の供給機構

(二)ソ聯に於ける食糧及び日用生活必需品の供給ルートは國營商店とコルホーズと目田市場である。

(三)國營商店の販賣商品には切符制によるものと自由販賣によるものと二種類がありその價格は政府が決定する。

(四)國營商店に於ける自由販賣は營利商業と稱せられ各種の商品が販賣されるがその價格は切符配給制のものに比し法外な高値で割へば左の如くである。(同日七・八)

商 品 別	配 給 價 格	自 由 販 賣 價 格	
		一九四四年四月	最 近
パン(一廷)	一留前後	一〇〇留	二〇〇留
砂糖(一)	五・五	八〇〇	二〇〇
牛肉(一)	七四前後	五〇	一〇〇
洋 服	七〇〇一八〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇一四〇〇〇
靴	三〇〇前後	三〇〇〇	一五〇〇前後
バター(一廷)		七〇〇	三〇〇
ケーキ(二個)		五〇	一八
アイスクリーム(一個)		三〇	四

(4) ソ聯のこれら供給設備に關する政策は終戦前年より國營商店に於ける自由販賣を減充すると共に切符制による配給を漸次これに移譲して行かうとする傾向が顯著となつてゐる。

(5) 切符配給制の現状(ソ聯放送三・一九、世界短波三・二〇) 現在切符配給制の實施されてゐるものは左の如くであるが民生用水等の向上を重要課題の一とする第四、五年計に於て一九四七年迄にその全廢が豫想されてゐる。

第五 歐洲

(1) パン、麥粉、燕麥、マカローニ（一九四六年度に於て廢止の豫定）

(2) 砂糖、肉及び肉製品、脂肪（一九四六―四七年度に於て廢止の豫定）

ドイツ經濟統一管理を繞る問題

(一) ポツダム宣言によりドイツ經濟統一管理の原則が規定されてゐるが、現實には米英佛ソ四ヶ國により分割管理されてゐるのみならず、各地區間の交易すら圓滑に行はれてゐない實情である。(1) かかる状態は米軍政長官の報告にもある如く、民衆の決意力を覆さんとする程度に迄一般的經濟崩壊を招き、平和的經濟復興を程度に妨げてゐる。

(2) 今やパリ四ヶ國外相會議に於てドイツ處理問題が議題となるに及び本問題は活潑な論議の對象となつてゐる。

(二) 分割管理の現状（英文一・八、時經五・二五、七・四）

(1) ドイツ經濟界の活動はポツダム協定の許容する程度水準にも達しない低調を示してゐる。

(2) 現在ドイツには統一した郵便制度及び輸送組織がない。加つに分離した郵便鐵道では全く用をなさない。

(3) 自由なる交易が行はれず、爲に米軍管理地區に於ては米國納稅者の負擔において（年二億弗）食糧が供給されてゐる。

(4) 各國占領地區間の通商缺如に由來する原料並びに手持ち補給物資の累進的減少。

(5) 對獨賠償に於ける生産設備撤去に際し、米國が米軍管理地區よりの撤去を禁止したのも分割管理と、それに基く交易の不圖滑によるものである。

(三) 統一管理についての聯合各國の意嚮は左の通りである。

(1) 米國（時經五・二九朝日七・一一）

(1) ポツダム宣言により保障されてゐる左の統一管理策を實施すべきてこれがために現事態の打開策として聯合國管理委員會による特別調査委員會を設置すべしとする。

(a) 聯合國管理委員會に必要な公共事業の最小限の統一管理

(b) 金融、運輸、通信、外國貿易について中央機關の設立

(2) 尙在歐米軍政長官マクナニはドイツ經濟統一化に就き加ヘ副に意見の一致がみられない時は、たゞひ一國乃至二國でも

協力の意思あるものと新協定を結ばねばならぬと明確な意見を表明してゐる。

(2) 英國（時經六・一九）

(H) 即ち國外相會議に於て英代表は聯邦案によるドイツの政治的、經濟的統一を主張してゐる。

(H) ドイツ經濟統一化に關するロンドン・タイムス紙の論調

(a) ドイツ經濟界の活動がポツダム協定の許した最低水準にも達しないのは、賠償に關するポツダム決定に由來するものではなく、ドイツを一個の經濟單位として扱ふことのポツダム宣言をなんら效果的に實施することなく賠償に關する決定のみを適用したからである。

(b) しかし情勢は複雑でありドイツを一個の經濟單位として扱ふことは目下の所現實には不可能であるが、英國としては次の途をさねばならない。即ち

(I) 一切のドイツ資源をドイツ人に利用させる。

(II) 必要な輸出入計畫を樹立、即ち國占領地帶間の自由な物資交流を許す。

閱而して本年三月の協定に許された水準まで經濟復興が行はれる様努むべきである。

(8) ソ聯（朝日七・一二）

モロトフソ聯代表は即ケ國外相會議の席上、次の如くドイツ經濟的統一を主張してある。

(1) 分割乃至聯邦化案には反對であり、即時中央行政機關を設置しなければならぬ。

(2) ルール及びラインランド地方を分離するが如き事は獨立工業國としてのドイツを破壊し、これを農業國にして丁ふものである。

(4) フランス（外信六・一九、時經五・二九、朝日七・一二）

(1) 從來フランスはドイツの經濟的統一化に次の理由により反對して來てゐる。即ち

(a) ザール鑛山をフランスに合體せしめる。

(b) ルール及びラインランドをドイツから分離する。

この二條件がなければ新ドイツ戰爭機構再生を防止することは出來ず、従つてドイツ經濟の統一化に賛成することは出來ない。

(2) 即ケ國外相會議に於いて佛代表は、ルール及びラインランドの分離はあくまで堅持するが、ドイツの經濟的統一化については暫定的に支持する意見を表明してゐる。

第六東 亞

最近に於ける上海の經濟事情

(一) 貿易 (東電五二四、六二二、六二四世界短波三五、五三一、六七一、六一一、七五)

(1) 輸出入の狀況

中國の二大開港上海と天津に於ける對外貿易は天津が輸出入共殆んど杜絶狀態にあるのに反して上海は諸種の惡條件と戰ひながら徐々にはあるが以前の狀態に復歸しつつある。最近の概況は次の如くである。

(1) 輸出入額 (昭和二十一年一月分、アンラ物資を除く)。

輸出額

三、七六五千米弗

(註) 四月中の輸入額は約四千米弗と三月の輸入額の約二倍に當り飛躍的に増加した。

輸入額

四、六九〇千米弗

差引入超

九二五千米弗

(2) 主要輸出入品 (昭和二十年十一月—二十一年一月)

(a) 輸出品

綿布及び其の他の衣料品、綿糸、真田織及び絹物、

生糸等

(註) 戰前輸出品の大宗であつた桐油は統計表から除外さ

れてゐるが最近の豫想では二萬五千トンの輸出向ストツクがあるものと思はれる。尚綿糸及び綿布は其の後輸出が禁止された。

(b) 輸入品 棉花、石油製品、各種食料品

(c) 荷役、倉庫の状況 インフレの昂進に基く生活不安のため税關、従業員、荷役人夫の賃金値上げの要求は頻々として行はれてゐる。

(a) 之に伴ふ罷業の發生や荷役人夫の高賃金のための取扱業者の憤慨等によつて上海に集積した物資は夥しく、この倉庫も超満員で船舶は貨物を積載したまま立往生を遂げ、多数の船舶は江上に浮倉庫をなしてゐる。

(b) 又労働者の生活不安を反映して貨物の扱荷は甚しく特に食料品の如きは二割から五割に達し、一ヶ月の坂荷は法幣に換算して數億元に達するを云はれる

(註) 但し鹽海軍用品やアンラ物質は税關を通過しないため順向に運送されてゐる。

(2) 爲替相場 (海外重要情報第六輯参照)

(4) 對米爲替相場は本年三月の公定相場改訂（米弗三〇二〇元）以來中央銀行の挺入れ操作（相場安定のため）に應じ自ら賣買に出動するもあり二千元臺から二千三百元臺を維持してゐた。

(5) この相場は他の諸物價に比し稍々低位にあつたため、買入れによる相場の維持が困難となり最近この挺入れ操作が放棄されたので六月十日以降は一躍二千六、七百元臺に、約二割方急騰してゐる。

今三月四日の市場相場三〇〇〇元を一〇〇とする指數によつて最近の推移を見れば次の如くである。

區分	三月四日	五月三十日	六月六日	六月十日	七月五日
指數	一〇〇	一一七	一一六	一三一	一二七

(2) 物價（東京六・二二世界短汲三・五五、三一六・七六・二、六二四六・二二七・二七・一二）

(1) 主要商品物價指數（海外重要情報第六輯参照）
本年三月を基準に最近の推移を見れば

(イ) 金條相場 (單位十市兩)

三月四日の市場相場一五七萬元を一〇〇とする指數

區	分	三月四日	五月三十日	六月六日	六月十日	七月十一
指	數	一〇〇	一一三	一一六	一二二	一二四

(ロ) 米穀相場 (單位粳米一石)

三月四日の市場相場二六、〇〇〇元を一〇〇とする指數

區	分	三月四日	五月三十日	六月六日	六月十三日	七月十日
指	數	一〇〇	二一一	一九一	一七五	一七五

(註) 米穀相場は落戦直後の昨年八月末日の所、六八七元に較べると約一〇割の騰貴を示してゐる。

(ハ) 綿布 (單位雙馬印一疋)

三月八日の市場相場一〇八萬元を一〇〇とする指數

區	分	三月八日	五月三十日	六月六日	六月十日	六月二十一日
指	數	一〇〇	一一九	不明	不明	一三五

右によれば對米爲差相場の變遷は一般物價には大した影響を及ぼしていない、六月に入つてから一般物價は寧ろ下落の傾向を見る。

(2) 物價高に喘ぐ市内の生活状態（東電六・二二）

(4) 上海市内の中華料理は一食五弗程度（法幣で一萬一千五百元、六月六日の爲替相場二千三百元を基準とす以下同じ）で、チユープ入練肉店が二弗（四千六百元）、短距離の人力車賃が七十五仙（一千七百二十元）、十五ワット電球が四弗（九千二百元）もするので上海に生活する外國人は生活難に喘であらう。

(5) 市内の中國人特に固定收入階級の生活は益々悲惨で四大家族で一ヶ月に半擔の米を消費する。すれば米代だけで三萬元（終戦直後の約十倍）を要する。一ヶ月の最低生活費は十五萬元程度と云はれるが之に對して警官の月収は五萬二千元であり、普通文官は六萬元から九萬八千元程度である。このため警官や下級官吏は自分では寄與者生活をなし、家族は親戚に預けたり、仕舞に出したりする一方郷里からの送金を仰いで辛うじて生活を維持してゐる。

(三) 勞働爭議の發生状況（東電五・二七）

前述の如き生活不安は左の通り勞働爭議の頻發となつて現はれてゐる。

(1) 工員数 (一九三七年六月現在、上海工人統計及びチャイナ・イヤー・ブツク推定)

種 分	工場数	工員数
中國工廠法による工廠 (工員三十名以上使用のもの)	五五五	三三〇〇〇〇人
其の他工場	一一三二六	二八〇〇〇〇
合 計	一六八五一	六〇〇〇〇〇

(註) 最近に於ける工員数は五〇萬人程度と推定される。

(2) 争議参加人員 (中共報道)

④ 調査期間 銘騰使國民政府が上海を接收した當時より本年四月末迄

③ 争議件数 大小約一萬件

② 争議参加人員 延約五十萬人

右によれば銘騰使が八月間に至る工員数に略々等しい人員が争議に参加してゐるに等しい。勿論これは延人員であるが約半分の工員が争議に参加してゐることは十分伺はれる。

(四) 物價騰貴の原因（東電六。二二）

(一) 中國の經濟事情の安定は内戰の繼續による政局の不安定生産及び輸送力の破壊等の根本的原因が除去されない限り解決されないうであらう。

(二) 物價の暴騰を直接助長してゐるのは主として投機者流の買廻りである。上海の多くの錢莊は月利二〇％で資金を運轉してゐると云はれるがこれらの高利資金の大部分は斯うした投機に使用されてゐるものと思はれる。

(三) 最近中國各地の物價は一時的にしろ安定してゐるが、これは國共兩者によつて締結された暫定的休戰協定が將來への見透しに好影響を與へてゐるからであらう。

北鮮に於ける本年度豫算

ソ聯軍占領下の北緯三十八度線以北の北朝鮮に治安行政機關として去る二月八日樹立された北鮮臨時人民委員會は本年度豫算を左の通り發表した。（東電七。一）

(一) 一九四六年度（四月一十二月）歳入歳出豫算

(1) 總算額

(1) 中央 (北海臨時人民委員會) の税出入豫算額

六二四一三六六九圓 (總額に對する比率三・一%)

(2) 地方 (各道人民委員會) の税出入豫算額

五二四四九三三六七圓 (總額に對する比率四六・六%)

(3) 總額 (1) 及び (2) の合計額

一一六八六三三〇三六圓

(2) 中央豫算額内譯

(1) 輸入額内譯 (單位圓)

科目	輸入額	百分率
租稅收入	四七一六〇一三七八	七六%
專賣收入	三三〇〇〇〇〇〇	五%
交通事業收入	五六〇〇〇〇〇〇	九%
雜收入	六三三三三三三	一〇%
合計	六二四一三六六九	一〇〇%

(口) 歳出額内詳 (單位圓)

科目	歳出額	百分率
會議調查費	一、五〇八、〇〇〇	〇・二
國勢調查費	九七、四〇〇	〇・二
政務費	一六四、一三六、三六三	二・三
教育費	一一八、五五七、四九八	一・九
保健費	三八、五三八、九八七	〇・六
社會事業費	二、六四〇、〇〇〇	〇・二
通信事業費	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一・六
國營事業費	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一・六
水利事業費	五〇、〇〇〇、〇〇〇	〇・八
產業助成費	三六、三五四、四九六	三・八
建設費	三六、九八五、六五五	六・〇
雜支費	六九〇、八二九五	一・〇
豫備費	五七、七〇三、〇〇〇	一・三
合計	六、二四一、五六六、六六九	一〇〇・〇

(5) 註釋說明

(1) 中央及地方豫算の比率は五三・四對一六・六、地方豫算

の比率が相當大きいがこれは地方豫算に行政費の他保安

隊の經費が含まれてゐるのによるものと思はれる。

(2) 歳出に於て教育費に一九%、水利事業費及び建設費に一

四%の多額を充ててゐる。

(3) 米軍占領下の朝鮮の豫算との比較

(1) 米軍占領下の朝鮮の豫算	(2) 朝鮮の新年度豫算の概要
歳入	八〇一三三九〇〇〇〇圓
(2) 比較	歳出
歳入	一、八〇〇、二一〇、〇〇〇圓

(1) 北朝鮮の豫算を右に比較すれば歳入に於ては七分の一、

歳出に於ては十分の一弱に過ぎないが、これは北朝鮮に於

ては朝鮮銀行券の流通を禁止し、新票を発行したため物

價水準が相違することによる點が多いと思はれる。

(2) 朝鮮に於ては歳入の八〇%を専賣收入で賄はんとしてゐる

るのに當し北の專賣收入は僅かに五%に過ぎず、歳入の大部分七六%を租稅收入により賄はんとしてゐる。北洋に於ては稅制を改革して單一所得稅制を施行せんとしてゐる。